



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月27日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 本多 裕 TEL 0797(32)1995
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,606	△2.1	1,536	△48.5	2,083	△30.5	1,368	△10.7
2022年3月期第1四半期	9,813	89.4	2,984	280.3	3,000	247.6	1,532	99.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,370百万円(△7.2%) 2022年3月期第1四半期 1,476百万円(92.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.06	11.02
2022年3月期第1四半期	12.40	12.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	92,499	50,979	54.3
2022年3月期	97,134	51,089	51.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 50,193百万円 2022年3月期 50,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△11.9	14,500	△27.3	14,500	△29.3	10,300	△29.0	83.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	129,686,308株	2022年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,919,644株	2022年3月期	5,929,344株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	123,762,831株	2022年3月期1Q	123,623,198株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

売上高は96億6百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」は、販売数量は増加しましたが、2022年4月の薬価改定の影響を受けました。同じく薬価改定があった腎性貧血治療薬は減収幅が大きかったものの、2021年5月に薬価収載された「イズカーゴ。点滴静注用10mg」が大きく寄与したことなどにより、主力製品の売上合計は前期を上回りました。主力製品以外では、契約金収入は増加しましたが、アストラゼネカ株式会社の新型コロナウイルスに対するワクチン原液の国内製造の受託を予定どおり終了したことなどにより、売上高合計は前期に比べて減収となりました。

営業利益は15億36百万円（前年同期比48.5%減）、経常利益は20億83百万円（前年同期比30.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億68百万円（前年同期比10.7%減）となり、いずれも減益となりました。

積極的な研究開発活動の結果、研究開発費は24.9%増加し21億91百万円（前年同期比4億37百万円増）となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	9,813	9,606	△2.1
営業利益	2,984	1,536	△48.5
経常利益	3,000	2,083	△30.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,532	1,368	△10.7

②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®]	3,311	3,134	△5.3
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ。点滴静注用	224	1,070	376.8
腎性貧血治療薬	1,603	875	△45.4
エポエチンアルファBS注「JCR」	644	660	2.5
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	958	214	△77.6
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	813	1,041	28.1
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	154	519	236.1
AZD1222原液	3,671	1,931	△47.4
契約金収入	10	1,010	—

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。また、J-Brain Cargo[®]技術の様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究にも注力しております。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、2021年5月に日本での販売を開始いたしました（製品名「イズカーゴ。点滴静注用10mg」）。また、ブラジル連邦共和国では2020年12月にブラジル国家衛生監督庁（ANVISA）に製造販売承認申請を行いました。その他の地域では、2021年2月に米国食品医薬品局（FDA）よりFast Track（※1）の指定を、2021年10月には欧州医薬品庁（EMA）よりPRIME（※2）の指定をそれぞれ受けております。2022年2月にはグローバル臨床第3相試験において最初の被験者への投薬が開始されております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤Iepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国において臨床第1/2相試験を実施しており、2022年3月までに計画した全例の登録を完了しております。なお、2021年2月にFDAより、2021年3月に欧州委員会（EC）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。また、2021年9月にFDAよりFast Trackの指定を受けており、米国における臨床開発の迅速化、優先審査や早期承認が期待されます。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、2022年1月にECよりオーファンドラッグの指定を受けており、欧州（EU）領域における開発促進のための様々なインセンティブを受けることができます。現在、2023年上半期のグローバル臨床試験開始に向けた取り組みを進めております。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬（ボンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、サンフィリップ症候群B型治療薬（開発番号：JR-446）、GM2ガングリオシドーシス治療薬（開発番号：JR-479））についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。

[再生医療等製品]

- ・「テムセル[®]HS注」の新たな適応拡大として新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）に対する臨床第1/2相試験を実施しております。
- ・帝人株式会社との共同開発であった他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）については、2022年4月に共同開発を終結することで合意いたしました。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・「グロウジェクト[®]」の効能追加としてSHOX異常症（開発番号：JR-401X）に対する臨床第3相試験を実施しております。
- ・遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第2相試験を実施しております。

※1 FDA Fast Track制度

重篤な疾患を治療するために、アンメットメディカルニーズを満たす治療薬の開発を促進し、審査を迅速化することを目的とした制度。ファストトラック制度に指定された医薬品は、開発計画についてFDAと頻繁にミーティングを行うほか、関連する基準を満たす場合に優先審査および早期承認の対象となる。

※2 EMA PRIME (PRiority Medicines)

アンメットメディカルニーズを対象とした医薬品の開発支援を強化するために開始したスキーム。PRIMEによって早期かつ積極的な支援を受けることで医薬品の申請を迅速に行うことが可能となり、また迅速審査の対象になる可能性がある。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は924億99百万円（前連結会計年度末比46億34百万円減）、負債合計は415億20百万円（前連結会計年度末比45億24百万円減）、純資産合計は509億79百万円（前連結会計年度末比1億10百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加した一方で、売掛金及び契約資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ42億4百万円減少して579億83百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が増加した一方で、繰延税金資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少して345億16百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ46億27百万円減少して374億26百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加して40億94百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方で、配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少して509億79百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント上昇して54.3%となりました。

現時点では当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額155億円のコミットメントライン契約を締結しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で減収減益となりましたが、期初予想通りの傾向であり、2023年3月期の業績予想に関しましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,733	32,987
売掛金及び契約資産	15,585	9,372
有価証券	244	272
商品及び製品	2,121	1,363
仕掛品	5,024	5,024
原材料及び貯蔵品	7,491	7,920
その他	986	1,043
流動資産合計	62,188	57,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,086	6,286
土地	10,379	10,379
建設仮勘定	8,019	8,121
その他(純額)	2,298	2,297
有形固定資産合計	26,782	27,084
無形固定資産		
特許権	2,711	2,642
その他	249	315
無形固定資産合計	2,960	2,958
投資その他の資産		
投資有価証券	2,230	2,116
その他	2,976	2,361
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,202	4,473
固定資産合計	34,946	34,516
資産合計	97,134	92,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324	1,352
短期借入金	15,150	15,050
未払法人税等	5,915	51
圧縮未決算特別勘定	11,996	11,996
賞与引当金	902	1,434
役員賞与引当金	102	130
その他	6,663	7,411
流動負債合計	42,054	37,426
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	2,450	2,550
退職給付に係る負債	870	874
その他	170	169
固定負債合計	3,990	4,094
負債合計	46,045	41,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,994	10,994
利益剰余金	33,241	33,124
自己株式	△3,600	△3,595
株主資本合計	49,697	49,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	619	560
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	30	76
退職給付に係る調整累計額	△32	△29
その他の包括利益累計額合計	618	607
新株予約権	567	567
非支配株主持分	205	218
純資産合計	51,089	50,979
負債純資産合計	97,134	92,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,813	9,606
売上原価	2,124	2,933
売上総利益	7,688	6,672
販売費及び一般管理費	4,704	5,136
営業利益	2,984	1,536
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	16	15
為替差益	2	540
その他	15	6
営業外収益合計	35	564
営業外費用		
支払利息	10	10
支払手数料	3	3
その他	5	3
営業外費用合計	19	16
経常利益	3,000	2,083
特別損失		
固定資産処分損	0	0
契約解約損	※ 1,000	—
その他	0	—
特別損失合計	1,000	0
税金等調整前四半期純利益	1,999	2,083
法人税、住民税及び事業税	383	45
法人税等調整額	79	668
法人税等合計	463	713
四半期純利益	1,536	1,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,532	1,368

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,536	1,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△59
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	30	58
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△59	1
四半期包括利益	1,476	1,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,460	1,357
非支配株主に係る四半期包括利益	15	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※契約解約損

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

前臨床段階であった一部の開発品に関しまして、締結していた優先交渉権について契約当事者間で双方合意の上で、2021年5月に契約を解消することとなりました。

本件に伴い、契約解約損が発生しております。